

地域で子どもを育てる部会 活動方針

2017年4月16日

部会長 東浩司

<キャッチフレーズ>

子どもたちを地域で育む～親の地域活動は‘わが子のふるさと’づくり
30年後、久木の子どもたちが親になったとき、住民協が子育てコミュニティになるように

<子ども部会(略称)の方針>

既存組織(小学校・中学校・保育園・幼稚園・学童・ふれスク・PTA・子ども会・学校
地域支援本部・地区青少年育成推進の会・まちのこそだち久木等)と連携しつつ、
テーマをもって活動されている方々を住民協につなげ、ゆるやかな子育て・子育て
ネットワークを確立したい。

◆久木小学校区は、子育てしやすい環境

- ・自然が豊かで、地域の一体感があり、子育てしながら地域のつながりを感じる。
- ・子ども会が活発で、通学の見守りがなされる等、子育てにやさしい地域である。

◆子育て世代は、自身のテーマに基づいて活動する

- ・地縁型組織に頼るよりも、自分のネットワークで、自身の関心事に基づいて動く。
- ・子どもは地域社会へのパスポート。子育てをきっかけに地域に目覚めたものの、
共働きで平日は時間さけず、休日は行事で忙しく、地域の諸活動に加われない。

★久木小学校区には子育て世代(30代40代)の地域活動家が沢山います

小野寺愛さん(つながる畑)、永井巧さん(黒門とびうおクラブ)、岸田直子さん(Summer Mae)、
岡田謙一郎さん(逗子コミュニティパーク)、辻義和さん(学び舎ボート)、小橋綾美さん(ビーサ
ンプロジェクト)、宮地藤雄さん(トレイルランナー)、青柳美保子さん(ミュージシャン)、他

<今後の活動案>

- ◇ テーマで活動されている方のニーズを集め、住民協が応えられるものを支援
- ◇ 既存の子育て関連事業を支援(各種お祭り、イベント等)
- ◇ 久小学区内で起きている個別課題の情報共有と、解決に向けた知恵提供
- ◇ 子育てコミュニティづくりのための新規事業を検討

以上

5